

たけによん YouTube 「病院できいてみたによん♪」 音声字幕テキスト

第1弾 「知ってる？小児科受診のポイント」編

【たけによん一家でピクニック♪】

たけによん： いいお天気で気持ちいいによん

たけによんママ： そうね。どんぐり落ちてるわ♪

たけによんパパ： いい運動になりそうだね。

のこたん： んー。しんどい。

たけによん： あれれ～？のこたん大丈夫によん？

たけによん： 大変だによん！急いで病院に行くによん！

【かきぼんしょうにかにて】

たけによんパパ： かきぼん先生！のこたん早く治してほしいください！

かきぼん先生： みんな落ち着いてぼん。早速みるぼん

かきぼん先生： のこたんは風邪からくる熱ぼん。お薬を出すので、様子を見てぼん

たけによんママ たけによんパパ たけによん： ありがとうございます。

かきぼん先生：熱、鼻水は体の中に入ってきたばい菌を退治したり、追い出そうとするときにおこるぼん。だから元気で食欲があるなら、水分を十分とって家で様子を見ておいてもいいぼん。病院にかかる大体の目安を教えるぼん。

【病院にかかるめやす】

産まれて4ヶ月までは、普段より熱が1度以上高いとか、母乳やミルクがいつもの半分しか飲めない時ぼん。

4ヶ月以降からは、熱が高くて元気がなくぐったりしたり、呼吸がしんどそうな時ぼん。

ただし、痙攣をおこしたり、唇が紫色の時はお医者さんで早く診てもらってね。お母さんがとっても心配な時はためらわずに救急車を呼んでぼん。

それから小児科を受診したときには3つの事を教えてほしいぼん。

【小児科医が教えて欲しいこと】

一つ目に、気になる症状を普段の子どもの様子と比べてどう違うかを教えてほしいぼん。

二つ目に、水分摂取量も含めて食べている量を教えてほしいぼん。

三つ目に、子どもの体重を教えてほしいぼん。

例えば、「3日前から黄色い鼻水がでてきて、いつもは夜中に一回しか起きないけど、昨日は4回起きた。食欲もなく、いつもの半分の量しか食べれていない。」とかね。

【抵抗力を高めるために】

日頃から抵抗力を高めておくことが大切だボン。よく遊び、よく食べ、よく眠る事が必要ボン。抵抗力があれば、病気にかかりにくくなるボン。

【3つのCをたいせつにしよう！】

では、子どもの体調が悪い事に気付くために、普段から3つのCを大切にしてほしいボン。

一つ目、触れ合い (CONTACT)

子どもを抱きしめたり触れたりたくさんしてほしいボン。

スキンシップすると親も子どもも幸せホルモンが出るボン。熱があるときは触れるといつもより熱いとか体温計で計らなくても感じるボン。

二つ目、観る (CHECK)

食べる時間、寝る時間などの生活リズムを整えるとより普段と違う事に気付きやすいボン。

三つ目、伝える (COMMUNICATE)

子どもの体調をお医者さんに具体的に伝える事も大切ボン。また、ぜひかかりつけ医を持ってほしいボン。子どもの個性も知ってもらえるボン。

【小児科救急電話相談】

もし夜に子どもの体調で困ったときはここに電話してボン。

【西京区子どもはぐくみ室にて】

はぐくみ室職員：お父さん、お母さんいつも子育てお疲れ様です。子どもは手がかかるし、思い通りにいかない事も多いですね。出来なくて当たり前、わからなくて当たり前です。子どもと一緒に親になっていけばいいんです。

これから子育てで大変な事以上に沢山の楽しみ・喜びが待っています。今子どもと過ごすかけがえのない時間を大切にしてください。

そして困った時は西京区役所子どもはぐくみ室までご相談下さい。